

セントルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE SUMMER

## ルカ新聞

No.19  
2009.7.

モンブラン(フランス・シャモニー)

柘さ  
榴くろ

私の思いはあなたたちの思いと異なり、私の道はあなたたちの道と異なる、と主は言われる。雨も雪もひとたび天から降ればむなく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ、種まく人には種を与え、食べる人には糧を与える。そのように私の口から出る私の言葉もむなくは私のもとに戻らない。それは私の望むことを成し遂げ、私が与えた使命を必ず果たす。

イザヤ書55章8〜10節

人が望み、思い煩い、良かれと思つてなすことは如何に不確実、不十分なことでありましよう。私たちは、どうありたい、これを得たい、強くこれを望む、といった、さまざま願望をもっています。また、それが、その瞬間には一番大事であると信じています。しかし、神様から見れば、それらは多くの場合、神様の心とは異なっているといわれます。そして、それは、もつともつと高いところから見た意味を持っているといわれます。これはすなわち、私たちの思いはそれほど正しくもなく、また大切でもないことに執着していることを指し示しているのではないかと思えます。そういえば、あの時はそれが正しいと思つていただけで、しばらく時がたつてから思い起こしてみれば、そうではなかったということがたくさんあります。私たちに神様のみ言葉が正しく聞こえていれば、神様の意向に従つたことがなされ、神様が与えた使命が果たされるといわれます。この神様のみに沿つた道とはどれでしょうか。見つかればきつと神様も私も満足いく結果が得られるでしょう。それは永遠にわからないことかもしれないし、ひょっとすれば、それはすぐそこにあるかもしれません。探しましよう。いつ、いかなるときでも、神様のお力添えを信じて。



## 巻 頭 言

院長 宇津宮 隆史

今年に入って、妊娠数が5,000件を超えました。流産や子宮外妊娠もありますので、実質、赤ちゃんが誕生したのは少し少なくなりますが、それでも、この16年間でこれだけの数の妊娠が得られたということは、毎日の地道な取り組みが実を結んできた結果だと思います。

こうして診療してきて、最近では、不妊治療は誰のためのものかということを考えます。いろいろな患者さんと接していくうちに(ご存知のとおり、ゆっくり話す時間はありませんが)、ほとんどの場合で何とかして赤ちゃんが授かってほしいと思いますが、なかには、まれに、この患者さん、またはご夫婦には、まだ赤ちゃんができないほうがいいのではないかと考えるような場合があります。赤ちゃんは、生まれる前には、まったく何も知りません。インフォームド・コンセントなどといっても、そこには赤ちゃんは入っていません。本当の一番の当事者であるにもかかわらず。

わかりやすい例では、他人の精子、卵子、子宮を用いた提供配偶子、胚、代理母などです。将来、その子供さんが大人になったとき、本当に生まれてきて幸せと感じるでしょうか。それには、そう感じてくれる方法もあると思います。その夫婦はそこまでしてもそれだけ赤ちゃんがほしかったのですから。ヨーロッパでは、いろいろな取り組みがなされていますので、それを参考にすればよいと思います。

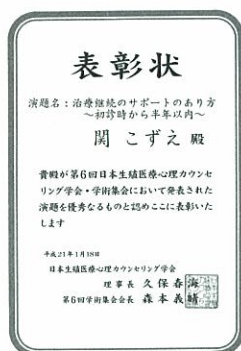
身近な例を挙げると、不健康なご夫婦、特にお母さんになる女性です。肥満、いろいろな疾患、それにタバコやお酒などの生活習慣、これらでお母さんになれる資格のない人が見受けられます。そのような不健康な状態で妊娠すれば、すぐハイ・リスク妊娠、分娩になります。その結果、赤ちゃんにいろいろな障害が出たとしたらどうするのでしょうか。その後の赤ちゃん、子供さんの苦勞は、そのような不健康な親のせいです。

また、先日報道されたような、夫婦の関係(Sex)はどうでしょうか。日本人は夫婦関係が少

ない(多いのはイタリア、フランスで年間 120 回くらい、日本は 46 回くらい)といわれています。しかし、これは一般夫婦です。今、赤ちゃんがほしい夫婦では、もっと接触があるはずです。それが少ない。まったくない夫婦もいます。その代わり人工授精や体外受精を利用しようとしてやってきます。そんなことで、幸せな将来を持った子供が生まれるでしょうか。もっと夫婦がお互いを理解しあわねばならないのではないのでしょうか。その結果、いろいろ楽しいことが得られ、そのひとつに二人の子供が誕生するという結果がついてくると思います。

不妊症診療は、今の不妊夫婦のためというより、まだ生まれてきていない将来の幸せな子供のためにあると思います。

## 第6回日本生殖医療心理カウンセリング学会・学術集会優秀演題賞受賞



2009年1月18日(日)に開催された、第6回日本生殖医療心理カウンセリング学会において、当院看護部発表の「治療継続のサポートのあり方～初診時から半年以内～」が優秀演題賞に選ばれました。

この発表では、患者の皆さまにご協力を頂いた初診時のアンケートをもとに、集計を行い、発表させて頂きました。今回の結果をふまえ、よりよいサポートが行えるよう、皆さまに還元していきたいと思えます。

## 第50回 日本哺乳動物卵子学会学術奨励賞(臨床部門)受賞

5月8日(金)～9日(土)の2日間、都市センター(東京)にて日本哺乳動物卵子学会が行われました。72の演題のなかから、当院発表の「走査型電気化学顕微鏡を用いた胚品質評価の選択的単一胚移植(eSET)への臨床的有用性」が選ばれました。

受精卵の呼吸量を測定することにより、妊娠率が1.5倍に上昇しました。また、受精卵の活性の検査もでき、臨床的に役立つことを認めていただきました。



山形大学教授 阿部宏之先生と

# 研究室だより

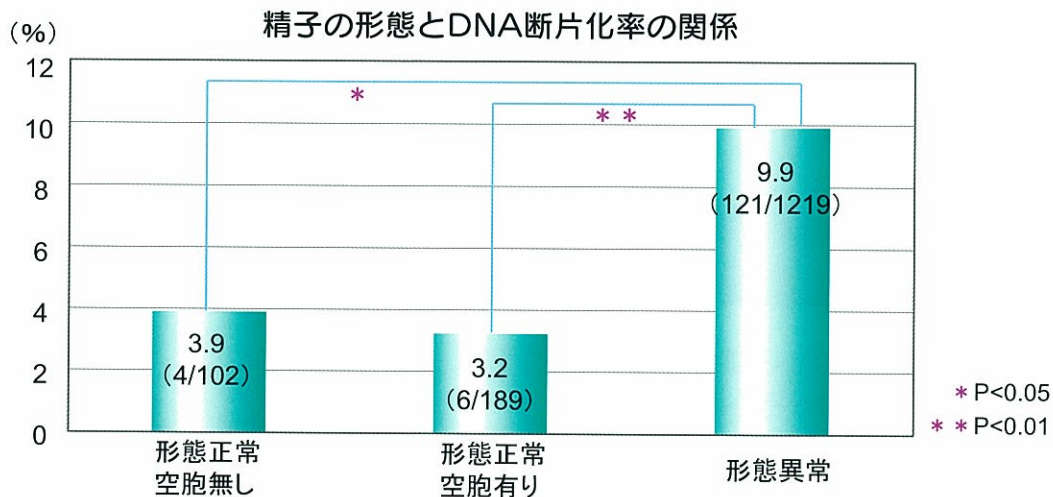
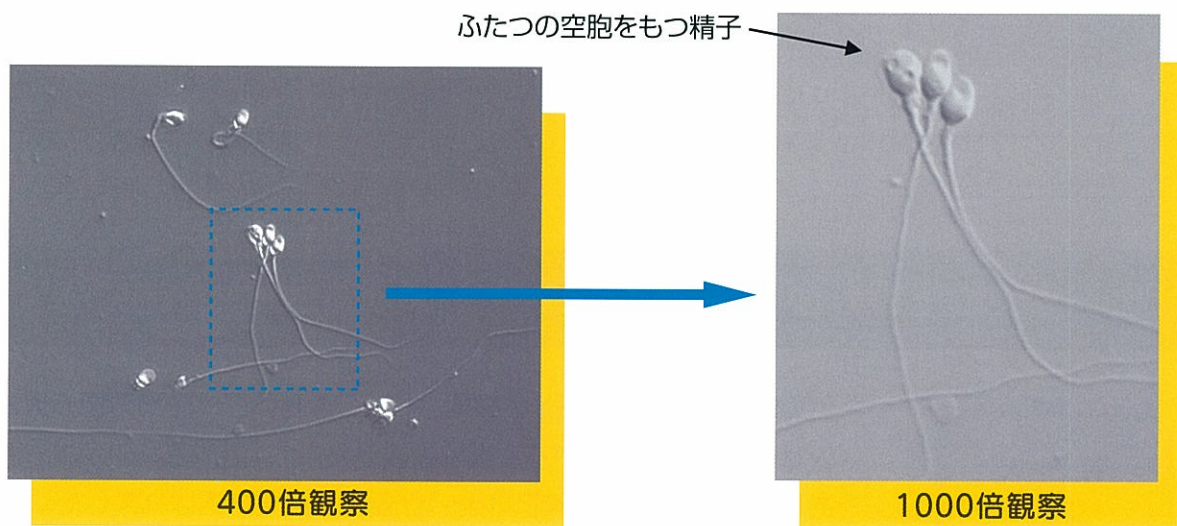
## 精子のDNA断片化(損傷)について

研究室 城戸 京子

近年、精子の形態だけでなく、DNAレベルでの研究も進んできています。

当院でも、精子のDNA断片化(DNAの損傷)率を調査し、より良い精子を選別した顕微授精における妊娠率の向上、流産率の低下を目指して研究を進めています。

精子を高倍率(1000倍)で観察していると、頭部に空胞がある精子があり、この空胞は形態の良し悪しに関係なく観察されます。これらの空胞は、いったい何なのか？受精や胚発育、妊娠、流産に関係あるものなのか？



ここで、DNAの断片化(DNAの損傷)率を調査したところ、形態が良い精子の場合、空胞の有無はDNAの断片化に関係のないことが示されました。また、形態の悪い精子の場合は、DNAの断片化がおきている確率が高くなることが示されました。

本研究は、4月に開催された日本生殖医学会九州支部会で発表させていただきました。今後も研究を深め、他の学会でも発表予定です。

# 看護部だより

## 当院における体外受精教室の現状

～教室前後の質問紙調査から～

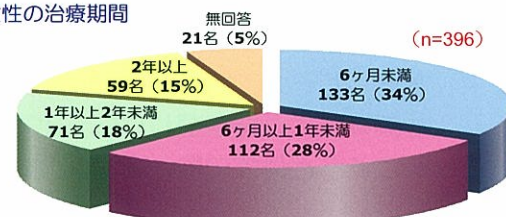
看護部 三重野 直美

**目的** 体外受精教室(以下IVF教室とする)に参加する患者・夫婦の教室前後の気持ちを把握し、より患者ニーズに沿った教室のあり方について検討する。

**対象** 2007年4月から2008年7月までの16ヶ月間に当院にてIVF教室に参加した患者760名(夫婦360組、女性396名、男性364名)。

**方法** 当院作成による質問紙を配布し、教室前後に記入してもらった。質問紙の回収率は99.5%であった。

女性の治療期間

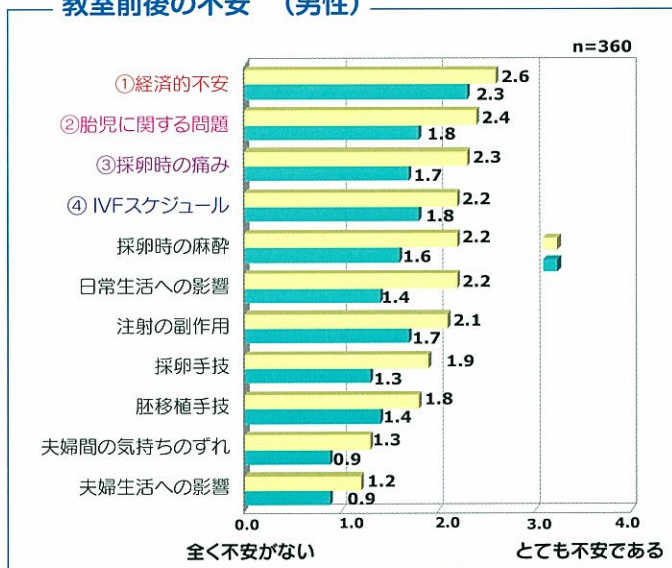


**教室参加者の背景** 平均年齢 男性35.3歳(24～72歳) 女性34.7歳(22～46歳)

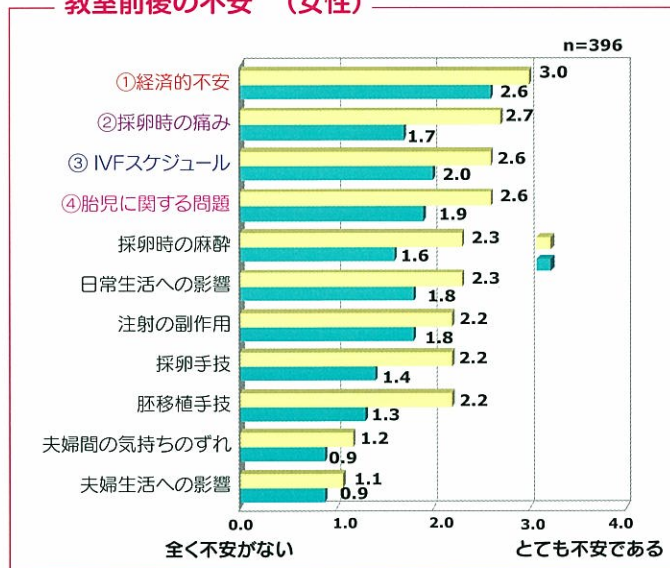
### IVF教室とは

- 体外受精へとステップアップするご夫婦を対象とし、毎月1回土曜日の午後、当院の多目的ホールで開催する。
- 解剖生理やホルモン動態・妊娠成立の機序・ARTの詳細、当院の統計などに関する説明を約4時間かけて行う。
- IVF教室の最後に、患者からの質問を受け付け、院長・ラボスタッフが答える。

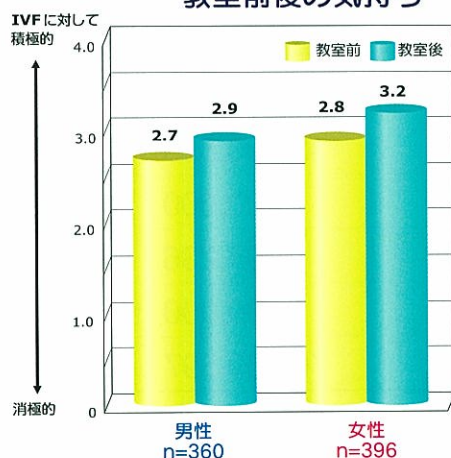
### 教室前後の不安 (男性)



### 教室前後の不安 (女性)



### IVFを行うことについて 教室前後の気持ち



### ●自由記述より

#### ARTの内容理解による不安軽減

- 資料を見るだけでは理解できなかった点が多くありましたが、今日お話を聞いて、解消できたこともあり不安もやわらぎました。
- 先生や看護師、胚培養士の皆さんを信頼し、自分の体調をしっかりと整えて、体外受精に取り組みたいと思います。

#### 医師・病院への信頼による不安軽減

- 患者の事をとても考えてくれる先生と病院だと思い安心しました。
- 先生や看護師、培養士のみなさんを信頼し、自分の体調をしっかりと整えて体外受精に取り組みたいと思います。

#### ARTへの積極性向上

- もっと早く参加すればよかったです。前向きになりました。
- 教室に参加するまでは、ついに最後のステップに来てしまったという焦りや不安で少々気が重かったのですが、先生の話聞いて気持ちが楽になり前向きにやらなければと思いました。

#### 経済的不安の残存

- 体外受精が現実的になってきた分、金銭面の不安が大きくなりました。
- 夫婦間でよく相談して今後のことを決めていきたい。

### まとめ

- 教室後の不安軽減およびARTへの積極性の上昇から、教室でのART内容説明、詳細な情報提供が不安軽減に効果的である。
- 教室後の男女のARTに対する積極性は共に上がっており、夫婦で教室参加する事が今後の関係のサポートにつながると思われる。
- 経済的問題については、今後も、患者の負担の軽減に役立つ情報提供や保険適用に向けた取り組みが必要であると考え。

# 心理相談室より



## 治療で夫婦関係が変わる？

- 不妊治療は夫婦二人で取り組むものです。
- けれども、夫婦の間で全く気持ちの違いが無いなどということはありません。
- 気持ちや意識、考え方は違って当たり前なのです。
- この違いに気づかず放っておくと、どんどん二人の間の距離が開いていくこともあります。
- そしてそのことによって特に影響が現れやすいのは、「コミュニケーション」と「セックス」です。
- 夫婦間の距離を感じたら、一度お話をきいてみませんか？
- こころと身体の触れ合い、どちらも大切にしたいですね。

○治療に関すること、夫婦関係、気分の落ち込み、いらいら、人間関係、ストレス、etc.

### どうぞお気軽にご利用ください(男・女、個人・夫婦)

カウンセリングに興味のある方は、看護師、受付スタッフに声をかけてください

[料金:一回一時間を目安に1370円(体外受精の方は無料)]



心理士相談 …… 火、金、土曜日 (予約制)	看護師又は受付に 申し出て下さい。
何でも相談 …… 随時、主に土曜日 午後(予約制)	
院長相談 …… 月、水、金 夕方(予約制)	
外来相談 …… 随時、外来の相談係り	

# 受付より



5月にガーデニングの花の植え替えを行い、正面玄関横のガーデニングスペースがとてもきれいになりました。みなさん、ぜひ、帰り際に見て帰ってくださいね☆  
さて、2008.4.1～2009.3.31まで当院を通して不妊治療助成金が交付された金額が集計されましたので受付より報告いたします。

	人数	申請回数	助成金額
大分県	108	173	15,684,668
大分市	195	294	42,590,693
他県	5	8	800,000
県と市両方	51	61	11,194,236
大分市以外	1	1	100,000
合計	360	537	70,369,597

助成金申請の書類のお預かりは、年度末になると大変混み合います。  
申請可能な方は、出来るだけ早めに受付まで持って来て下さい。  
皆様、ご協力をよろしくお願い致します。



**大阪組**

2月20~21日の1泊2日で大阪に行ってきました!  
 1日目はUSJで1日中遊び、たこ焼きやお好み焼きなど  
 の大阪名物を堪能しました。  
 ジュラシックパークのようなホテルも快適で、フロント  
 に水槽があり、珍しい水玉のクラゲが泳いでいました。  
 2日目は、なんばグランド花月で大笑いし(´0´)、楽し  
 い二日間があっという間に過ぎました。

**北海道第1班** 2009年2月20日~22日

悪天候に見舞われ、とても楽しみにしていた旭山動物園には行けず、帰りの飛行機もキャンセル待ちとハブニング続きの一班でしたが、それぞれスキーや観光班に別れ、北海道を満喫し、とても思い出に残る旅行になりました。旭山動物園は是非リベンジしたいと思います。

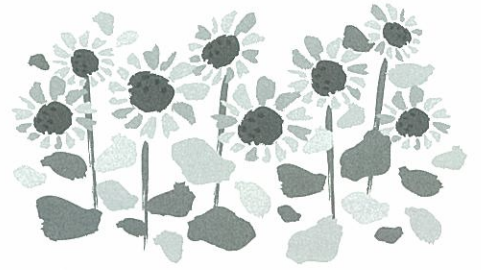


**北海道第2班**  
2009年2月23日~25日

北海道に行ってきました。大変!!晴天に見舞われ(´^`v)旭山動物園に行ってきました。原井さんの仕切りと共にバスに乗り込み、いざ出発~(´^`)/ペンギンさんのヨチヨチ行進かわいかったです。  
 北海道の名物カニ・スープカレー・ラーメン・ジンギスカンあらゆる美味しいものを食べ尽くしてきました。3日間良い経験をさせていただきました。



**NEW  
職員紹介**



**川村 智恵**



以前も産婦人科で働いていましたが、ここでは新しいことばかりです。先生や先輩方、患者さんにたくさんのことを教わりながら成長していきたいと思います。よろしくお願いします。

**阿南 志保**



5月に入ったばかりで、まだまだわからないことばかりです。患者さんと一緒に勉強しながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

## 2009年 前期を振り返って

<p>01.10 新年会 (セント・ルカ多目的ホール) 01.13 第118回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 01.17 第37回 新患教室 参加者51名 参加〈深田、河野、足立直、指山〉 01.18 第6回 日本生殖医療心理カウンセリング学会学術集会(大阪) 参加〈城戸、後藤裕) バネル・ディスカッション「こんな時どうする?@生殖医療の現場から」 座長: 院長 一般講演座長: 上野桂子 ポスター発表: 「ART 施設におけるサポートグループの看護師の役割」 (松元恵利子) 「治療継続のサポートのあり方~初診時から半年以内~」 (関こすえ) (優秀演題賞受賞)</p> <p>01.19 兵庫耐震工学研究センター施設見学 (兵庫) 参加〈城戸、後藤裕) 参加者57名 01.20 院内全体研修: 料金表について (担当: 受付) 01.24 第141回 体外受精教室 参加者57名 参加〈井澤、三重野、斉高) 参加者57名 01.24 第5回 2008年度(第2期) 不妊相談士養成講座(東京) 参加〈小池) 参加者57名 01.25 第6回 生殖看護学会九州地区勉強会(福岡) 参加〈深田、足立直、工藤美) 参加者57名 01.27 院内全体研修: 防災訓練(担当: 受付) 01.29 ISO9001リーダー研修 日本エム・エム・シー 田中繁充氏ご来院 01.29 第1回 大分県産婦人科臨床フォーラム(大分) 参加〈院長) 参加者57名 01.31 第5回 ご夫婦二人だけの人生を選ばれた元患者さんのお話 参加者9名</p>	<p>04.19 ISIVF 15th World Congress on In Vitro Fertilization &amp; 4th World Congress on In Vitro Maturation(Geneva) A PART Session Symposium3 「ART for Fertility Preservation」 座長: 院長 発表: 「The current approach to oocytes vitrification for cancer patients in Japan」 (院長) ポスター発表: 「Evaluation of serum Anti-Mullerian Hormone(AMH)level in the IVF」 (長木美幸) 「Infertility patient's mental health condition using the Cornell Medical Index」 (上野桂子) 「Clinical efficacy of a novel evaluation method with measurement of embryo respiration activity using a scanning electrochemical microscopy」 (院長) 九州産婦人科内視鏡手術懇話会(福岡) 参加〈熊迫、指山、河邊) 発表: 「卵管炎の大きさ、卵管口の位置と妊娠について」 (院長) 日本生殖医学会九州支部会(福岡) 参加〈足立小、越名、佐藤久、指山、河邊、院長) 第1群「心理・看護(1)」座長: 上野桂子 「精子頭部の空胞と精子DNA断片化に関する検討」(城戸京子) 発表: 「走査型電気化学顕微鏡を用いた胚品質評価の選択的単一胚移植(eSET)への臨床的有用性」(熊迫陽子) 「ART 施設におけるサポートグループの看護師の役割」 (松元恵利子) 「治療継続のサポートのあり方~初診時から半年以内~」 (関こすえ)</p> <p>04.25 第5回 九州産婦人科内視鏡手術懇話会(福岡) 参加〈熊迫、指山、河邊) 発表: 「卵管炎の大きさ、卵管口の位置と妊娠について」 (院長)</p> <p>04.26 第66回 日本生殖医学会九州支部会(福岡) 参加〈足立小、越名、佐藤久、指山、河邊、院長) 第1群「心理・看護(1)」座長: 上野桂子 「精子頭部の空胞と精子DNA断片化に関する検討」(城戸京子) 発表: 「走査型電気化学顕微鏡を用いた胚品質評価の選択的単一胚移植(eSET)への臨床的有用性」(熊迫陽子) 「ART 施設におけるサポートグループの看護師の役割」 (松元恵利子) 「治療継続のサポートのあり方~初診時から半年以内~」 (関こすえ)</p> <p>04.28 院内全体研修: 教育者エックリスト運用について (担当: 教育・推進委員)</p>
<p>02.06 徳島大学病院(徳島) 桑原章先生 特定不妊治療費助成事業の実情視察のためご来院 02.07 第37回 「赤ちゃん~今ならきつと授かる~」 講座(大分・トキハ会館) 参加者45名 講師〈指山(看護師長)、上野(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院緒方一先生) 参加〈山路、工藤由、佐土原、西郡、深田、河野、足立直、後藤裕) 第119回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 02.17 院内全体研修: 胚移植の説明について (担当: 培養室・検査室) 02.20 職員旅行(北海道組第1班) 参加〈山路、平松、工藤由、佐土原、西郡、足立小、熊迫、長木、井澤、松元、足立直、工藤美、越光、後藤裕、関、篠田、指山、河邊、事務長、院長) 職員旅行(関西組) 参加〈別所、矢野、佐藤久、佐藤晶、河野、二宮、斉高、赤崎) 第6回 2008年度(第2期) 不妊相談士養成講座(東京) 参加〈小池) 面接官〈上野) 第5回 ART 生涯研修コース(東京) 参加〈城戸) 講師: 「anti-mullerian hormone (AMH) 値とART」 (院長) 職員旅行(北海道組第2班) 参加〈岡田、深田、原井) 第98回 大分県産産期研究会 参加〈山路、平松、工藤由、佐土原、西郡、足立小、越名、佐藤久、小池、城戸、井澤、二宮、松元、足立直、工藤美、河野、越光、斉高、赤崎、篠田、指山、上野、院長) 発表: 「ART 後の産産における原因のゲノムインプリントとの関係」(佐藤晶子) 「治療継続のサポートのあり方~初診時から半年以内~」 (関こすえ)</p> <p>02.26 醍醐渡辺クリニック(京都) 胚培養士 野々口積先生 PGD 研修のためご来院 02.28 第142回 体外受精教室 参加者55名 参加〈井澤、三重野、斉高) 02.28 第38回 ガーネットサークル OG 1名、参加者8名</p>	<p>05.01 新職員 阿南志保さん(看護部) 05.02 第144回 体外受精教室 参加者44名 参加(阿南、川村、井澤、岡田、斉高) 05.05 第12回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会野村陽一牧師先生ご来院 05.08 第7回 日本哺乳動物卵子学会培地開発委員会(東京) 参加〈院長) 第50回 日本哺乳動物卵子学会(東京) 一般演題「ART (5) ICSI」座長: 院長 発表: 「走査型電気化学顕微鏡を用いた胚品質評価の選択的単一胚移植(eSET)への臨床的有用性」(熊迫陽子) (学術奨励賞受賞) 「IVFにおける血清 AMH 値の検討」(長木美幸)</p> <p>05.16 第40回 新患教室 参加者52名 参加〈別所、阿南、川村、深田、足立直、河野、後藤裕、篠田、指山) 第39回 ガーネットサークル OG 1名、参加者5名 第145回 体外受精教室 ISO9001 マネジメントレビュー 第3期・第4期・第5期合同オリブの会 福井大学医学部(福井) 医学科アドバンスコース 講師〈院長) 大分県立看護科学大学講義 講義: 「不妊症講座」(院長) 第1回 JISART 心理教育セミナー(東京) 参加〈上野、院長) 第2回 JISART 事務教育セミナー(東京) 参加〈足立小、越名) 第2回 JISART ラボ教育セミナー(東京) 参加〈佐藤晶、城戸) 第6回 JISART 看護教育セミナー(東京) 参加〈後藤裕、篠田) 第27回 JISART 理事会(東京) 参加〈院長) 第7回 JISART シンポジウム(東京) 参加〈足立小、越名、佐藤晶、城戸、後藤裕、篠田、上野) シンポジウム「不妊治療における当院のこだわり」 発表: 「胚の呼吸量」(院長)</p>
<p>03.07 第26回 JISART 理事会(東京) 参加〈院長) 03.07 金沢医科大学産科産期医学(石川) 澤澤英樹先生研究のためご来院 03.08 JISART 審査研修(東京) 参加〈上野、院長) 03.10 第120回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会野村陽一牧師先生ご来院 03.14 第38回 新患教室 参加者65名 参加〈足立直、河野、指山) 03.14 第11回 第3期・第4期合同オリブの会 参加者6名 03.15 第4回 日本生殖再生医学会・学術集会(東京) 参加〈院長) ポスター発表: 「走査型電気化学顕微鏡を用いた胚品質評価の選択的単一胚移植(eSET)への臨床的有用性」(熊迫陽子) 「IVFにおける血清 AMH 値の検討」(長木美幸)</p> <p>03.19 第7回 日本予防医学リスクマネジメント学術総会(京都) 一般演題1 座長: 院長 発表: 「当院における体外受精患者さんへの多胎防止に対する取り組み」 (熊迫陽子) 「不妊治療施設における看護師のインシデントレポート」 (後藤裕子/指山典千代)</p> <p>03.21 第10回 第5期オリブの会 参加者2名 03.23 第20回 日本発達心理学大会(東京) 自主シンポジウム議題提供者: 「生殖医療と家族の発達: 非典型的な家族を生きる」 (上野桂子)</p> <p>03.28 第143回 体外受精教室 参加者51名 参加〈井澤、三重野、斉高) セント・ルカ産婦人科&amp;メディック・ルカ合同お花見(大分・平和市民公園) 03.31 院内全体研修: HBe 肝炎について (担当: 看護部) 03.31 院内全体研修(安全管理研修): ウイルス・個人情報漏洩の危険について (担当: 情報処理室)</p>	<p>06.06 第38回 「赤ちゃん~今ならきつと授かる~」 講座(大分・トキハ会館) 講師〈指山(看護師長)、上野(臨床心理士)、院長) 06.07 第16回 セント・ルカセミナー 森崇英先生〈京都大学名誉教授、NPO 法人生殖再生医学アカデミア 理事長) 「生殖細胞形成の原理と倫理」 佐藤英明先生〈東北大学大学院農学研究科 教授) 「アノミクログロブリンの現在と未来」 有馬隆博先生〈東北大学未来医学工学治療開発センター 准教授) 「エピゲノム解析技術を用いたヒト生殖医療へのアプローチ ART の安全性評価について」 荒木康久先生〈高度生殖医療技術研究所 所長) 「臨床とラボ業務から学ぶこと」 岡本裕子先生〈広島大学大学院教育研究科心理学講座臨床心理学研究室 教授) 「子どもに恵まれないことの心理臨床」 「予期せぬ人生の危機をどう受けとめるか」 辻英美先生〈NPO 法人 Fine ~現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会~ Fine ピア・カウンセラー) 「不妊と向き合うために必要な力 Fine ピア・カウンセラーの活動から」</p> <p>06.08 高度生殖医療技術研究所 所長 荒木康久先生ご来院・ご指導 06.09 第123回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 06.13 第146回 体外受精教室 平成21年度 日本産科婦人科学会大分地方部会・大分県産婦人科医会総会(大分) 発表: 「当院の不妊治療の現状」(院長) 06.14 第195回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加〈院長) 06.20 JISART 会議(東京) 参加〈院長) 06.27 第21回 大分内視鏡外科研究会(大分)</p>
<p>04.01 新職員 川村智恵さん(看護部) 04.04 第39回 新患教室 参加者45名 参加〈川村、深田、河野、後藤裕、指山) 04.05 第61回 日本産科婦人科学会学術講演会(京都) 参加〈院長) 04.07 第121回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 04.10 第29回 大分市医師会産婦人科~内分泌・不妊・代謝~懇話会 参加〈山路、平松、工藤由、佐土原、西郡、足立小、越名、佐藤久、佐藤晶、熊迫、長木、川村、岡田、井澤、松元、二宮、越光、斉高、後藤裕、指山、上野、河邊、院長) 「体外受精成功三十余年後の今日考えること」 (生殖ハイオロジー 東京シンポジウム代表 鈴木秋悦先生)</p> <p>04.11 日本哺乳動物卵子学会常任理事会(東京) 参加〈院長)</p>	<p>著書 院長「生殖補助医療における多胎妊娠とその予防」『Pharma Medica』2009年5月号 (メディカルレビュー社) (掲載予定) 「PGD」産婦人科の実際 不妊治療マニュアル(金原出版株式会社) (執筆中)</p> <p>論文 英子「ロバートソン転座保因者における着床前診断」日本受精着床学会雑誌 26(1):320-322,2009 熊迫 陽子「The efficacy of the transfer of twice frozen-thawed embryos with the vitrification method」 Fertility and Sterility 91(2):383-386,2009</p>

### 妊娠報告件数

(2008.12.1~2009.5.31)

体外受精、顕微授精等

**55件**

\*

その他(体外受精以外)

**101件**

**計 156件**

### 編集後記

スイスのジュネーブで行なわれた学会は、フランス経由で参加させていただきました。パリでは、ルーブル美術館やヴェルサイユ宮殿など沢山の芸術に触れることが出来ました。フランスからジュネーブへは列車TGVで移動したのですが、列車からの景色は、新緑の山とたくさんの菜の花でとても綺麗でした。またスイスでは、アルプスの山の山頂に行かせていただきました。列車で見た春の風景とは違い、一面が雪の銀世界でした。今回の学会では、芸術や自然に触れることが出来、忘れられない思い出となりました。外來の待合室に、今回の旅行の写真が飾られていますので、機会があったらぜひご覧になって下さい。(M.N)



**JISART**  
Japanese Institution for Standardizing Assisted Reproductive Technology

発行:医療法人セント・ルカ産婦人科/セント・ルカ生殖医療研究所  
〒870-0947 大分市津守富岡5組 ☎097-568-6060 ☎097-568-6299  
E-mail st-luke@oct-net.ne.jp http://www.st-luke.jp/  
携帯サイト http://www.st-luke.jp/imode.htm